

理學博士小澤儀明君ノ中國地方ノ古生層並ニ中生層ノ層位學上

四

ノ研究ニ對スル授賞審査要旨

本研究ハ本邦西半内帯ノ地質學的層位ヲ明カニシ其ノ地體構造ヲ根本的ニ解決セルモノニシテ斯學界ニ於ケル近來出色ノ業績ナリトス、抑々本邦西半ノ地ハ著シク内外二帯ノ構造ヲ異ニシ外帯ノ比較的整然タルニ反シ内帯ニ於テハ新舊ノ地層ト種々ノ噴出岩トハ相交錯シテ地殼ノ構造複雑ヲ極メ其ノ眞相容易ニ端倪スベカラザルモノアリ、小澤君ガ此ノ地方ノ研究ニ先ヅ指ヲ染メラレタルハ山口縣秋吉臺及ビ於福臺ノ石灰岩臺地ニシテ君ハ此ノ廣大ナル臺地ヲ造レル石灰岩ノ層理極メテ不分明ナル地層中ヨリ約九十種ノ化石ヲ發見シテ之ヲ研究シ、殊ニ其ノ多數ヲ占ムル「フズリナ」科有孔蟲ニ付キテハ最モ詳細ナル研究ヲ遂ゲ其ノ結果從來行ハレタル Schwager, E. Schellwien, H. v. Staff, Wedekind, H. Douville, J. Deprat 諸氏ノ說ヲ改鑄シ爰ニ古生代ノ最モ重要ナル標準化石ノ一タル此ノ科ニツキテ新ラシキ分類ヲ創定スルコトヲ得タルハ其ノ業績ノ既ニ著ルシキモノタルヲ示スモノナリ。

次ニ君ハ此ノ結果ニ鑑ミ其ノ石灰岩中ニ石炭紀及二疊紀ノ新舊數多ノ化石帶アルコトヲ明カニシ、之ニヨリテ君ハ是等ノ地層ガ反轉シテ、即チ下部石炭紀層、上部石炭紀層、二疊紀層ノ順序ヲ以テ古層ヲ上位トシ漸次新層ヲ下位トシテ相重ナレル事實アルヲ認メ、此ノ奇異ナル現象ハ要スルニ是等ノ地層ガ南方ヨリ加ヘラレタル強大ナル造山作用ニヨリテ推被褶曲ヲナセルモノニシテ、其ノ遠ク北方

ニ倒レテ横臥セル褶曲ハ南北十二三杆ニ及ビ地層ノ厚サ二千米ニ達セルモノタルヲ確カメ爰ニ其ノ層位學上並ニ地體構造ノ研究上極メテ重要ナル斷案ヲ下ダヌヲ得タルモノナリ。

而カモ君ハ此ノ發見ニヨリテ一層此ノ現象ヲ重大視シ之ヲ以テ單ニ局部的ノ現象トナスノ餘リニ大規模ナルニ鑑ミ更ニ普ネク中國各地ニ就キテ其ノ研究ヲ進メタルニ岡山縣成羽附近ニ於テ亦同様に現象アルヲ發見シ此ノ特異ナル構造ハ普遍的ニ中國全地域ニ及ベルモノタルヲ知ルニ至レリ、是ニ於テ君ハ本邦ニ於ケル地殼變動ノ顯著ナルモノトシテ從來知ラレタル第三紀ノモノ、外ニ其ノ以前ニ於テ古生代後、三疊紀ノ初メニ於テ既ニ一大褶曲作用ノアリタルモノトシ之ニヨリテ本邦内帶ノ中國地方ニ推被褶曲ヲナセル山脈ヲ造リ本邦ハ當時ノ海中ヨリ隆起シテ爰ニ始メテ所謂「アンガラ」大陸ナル舊大陸ノ邊緣ヲナセル一地帶ヲ造ルニ至リタルモノトシ、君ハ此ノ過去ノ大山脈ニ命ズルニ秋吉山脈ノ名ヲ以テセリ、君ハ又此ノ著大ナル地殼變動ガ獨リ此ノ時代ニ止マラズ更ニ第二期ノ變動トシテ中生代「ジュラ」紀ノ末期ニ於テモ亦繰返サレタルコトヲ發見シ此ノ際ニ於テハ前ニ反シテ南方ニ向ツテ褶曲セル事實アルヲ指摘セリ。

上述セル發表ハ凡テ前人未發ノ學說ニシテ其ノ化石ノ研究ヨリ出發シテ終ニ日本群島ノ中生代白堊紀以前ニ於ケル地體構造ヲ闡明シ其ノ間ニ起レル地殼變動ノ狀況ヲ解説シ本邦地質ノ研究ニ多大ノ光明ヲ與ヘタルモノニシテ推賞ヲ値スルモノタルヲ疑ハザルナリ。

是等ノ研究ヲ發表サレタル主要ナル論文ハ次ノ如ク其ノI、IIニ於テ主トシテ化石學上ノ業績ヲ公

ニシIII及ビVニ於テ層位學殊ニ地體構造ニ關スル結論ヲ發表セリ、又其ノIV、V論文ニ就キテハ曩ニ大正十三年五月東京地質學會總會ニ於テ獎勵賞金ヲ贈與セラレタルコトアリ。

- I On the Classification of Fusulinidae. Jour. Coll. Sci, Imp. Univ. Tokyo, Vol. XIV, Art.4. 1925
- II Palaeontological and Stratigraphical Studies on the Permo-Carboniferous Limestone of Nagato. Pt. II, Palaeontology. I bid., Vol XIV, Art 6, 1925
- III The Post-Palaeozoic and Late-Mesozoic Earth-Movements in the Inner Zone of Japan. Jour. Faculty Sci. Imp. Univ. Tokyo, Vol. I. Pt. 2, 1925
- IV 日本二疊—石炭紀石灰岩ノ區分ニ就テ(地質學雜誌第三十卷三五五號、大正十二年)
- V 秋吉臺石灰岩ヲ含ム所謂上中部秩父古生層ノ層位學的研究(地質學雜誌第三十卷三五七號)(大正十二年)
- VI 秋吉臺ノ地史ト地形ト地下水(地理學評論第一卷、大正十四年)
- VII 所謂市ノ川ノ礫岩及ヒ中央線ニ就キテ(地學雜誌第三十七年二月號、大正十四年)